

# 基底膜タンパク質・ラミニンの 活性部位の解明とその応用

バイオサイエンス研究所では、公開セミナーを開催します。ぜひご参加ください。

日時: 2017年 **1月21日** (土) **14:00~15:30**

場所: 武庫川女子大学 薬学部 P5-141教室

(浜甲子園キャンパス 〒663-8179 兵庫県西宮市甲子園九番町11-68)

東京薬科大学 薬学部 教授

## 野水基義 先生

プロフィール

1982年 京都大学大学院 薬学研究科修了

1989年 米国国立保健衛生研究所(NIH)/国立癌研究所(NCI)  
研究員 などを経て現職。



参加**無料**  
申込**不要**  
誰でもご参加いただけます

個体の発生や再生に深く関与している基底膜は、うすい膜状の細胞外マトリックスで、マトリゲルとして細胞工学に汎用され、その主成分のラミニンはiPS細胞などの培養に用いられています。

我々は、ラミニンを数多くのペプチドを用いて分子解剖し、活性ペプチドを同定し、詳細な生物活性や受容体を解明してきた。また、これらのペプチドを用いて「人工基底膜」ともいえる合成バイオマテリアルを開発し、再生医療の分野への応用を展開してきました。



駐車場はありませんので  
公共交通機関をご利用ください。



ファミリーマートの  
角を曲がる

P5 (新棟) 141教室

薬学部正門を入り  
左手建物入口に入る

主催: 武庫川女子大学 バイオサイエンス研究所

連絡先: 0798-45-9931(薬学部事務室)

yakuz@mukogawa-u.ac.jp